

株式会社宇和島プロジェクト

漁業分野におけるDX実現に向けた、小骨自動除去装置の開発、
次世代人材の育成、養殖現場でのデジタル技術の導入

概要

株式会社宇和島プロジェクトは、愛媛県宇和島市を拠点に、水産物の生産・加工・流通・販売を一体化した事業を展開し、地域資源を活かした高付加価値商品（みかん魚等）を国内外へ流通・販売することで、漁業者の経営安定と地域活性化を目指している。



同社は、人口減少や少子高齢化など、急速に変化する社会環境の中で、従来の経営手法だけでは持続的な成長が難しくなっていることを背景に、デジタル化への取り組みを本格化。

出張申請などの社内手続きの電子化に加え、AIによる議事録作成やチャットGPTの活用など、先進技術を取り入れた取り組みを進行している。

また、現場からのシステム導入提案も活発になってきており、現在は魚のデータ（サイズや重量等）を紙で記入し、改めて事務所でデータ入力しているところを、加工場で直接データ入力できないか等、**業務改善に向けた動きも広がっている。**



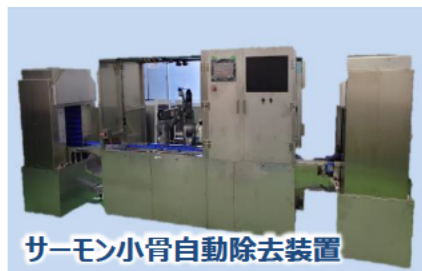
取組ポイント

加工工程の自動化

手作業によるサーモンの小骨除去作業は、直接魚に触ることにより魚の鮮度低下を招いたり、人手不足といった課題をかかえていた。

そこで、加工工程の自動化への一環として、国の補助金（成長型中小企業等研究開発支援事業）を活用し、土佐電子工業株式会社と連携し、サーモンの小骨抜きロボットの開発を進めている。

1フィーレ当たり50秒で処理でき、小骨の除去率も90%を達成するなど、**魚の鮮度維持や省力化に大きく貢献するものと期待されており、同業者からも注目されている。**



サーモン小骨自動除去装置

デジタル技術を活用した水産業次世代人材の育成

会社見学に訪れる子どもたちに向けて、水産業の仕事や養殖の仕組みを分かりやすく伝える教育コンテンツとしてVRを活用している。VRを通じて養殖場の環境や魚の育成の様子を体験でき、臨場感のある映像によって現場のリアルを感じてもらっている。

こうしたデジタルを活用した体験を通して、水産業への理解と関心を深め、次世代を担う人材育成や地域の水産業の未来づくりへとつなげている。

IoTで実現するスマート養殖

近年、養殖現場においても人手不足や労働者の高齢化といった課題が深刻化しており、現場の持続可能性が課題となっている状況である。

こうした状況の中、養殖現場でのデジタル技術の導入を進めており、養殖業におけるDXへ挑戦中。

企業情報

- ・事業内容 水産物卸売業・食品加工業・地域振興関連事業
- ・所在地 愛媛県宇和島市弁天町2丁目1番6号
- ・電話番号 0895-49-5600
- ・ホームページ <https://www.project-u.jp/>

株式会社 宇和島プロジェクト

UWAJIMA PROJECT